

平成29年度 知事室長 運営目標

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
1	既存の広報媒体の強化と、地域情報「ファクトブックシステム」と連携した「KYOTO SIDE」の本格稼働により、府政情報を強力に発信します。		
達成手段 (数値目標)	① より多くの府民への訴求を図るため、専門家の意見も取り入れながら、きょうと府民だよりのリニューアルなどにより広報媒体を強化します。	△	○ 専門家の意見を取り入れながら、各広報媒体の見直しを随時実施
	② メディア向けの地域情報を集約する地域情報ファクトブックシステムの充実を図るとともに、情報発信力を強化するため、各種情報配信メディアとの連携を進めつつ、Instagramなどの新たなSNSの窓口を増やすことで、Facebookや特設サイトを活用した京都府ファンコミュニティサイトKYOTOSIDEのファンを増やします。 ＜Facebookページのいいね！ 25万人(20,408人)＞		△ Facebookページのいいね！ 29,777人(11.91%) 【未達成の要因・理由】 前年より1.5倍に増加したものの、Facebook上でのキャンペーンで爆発的に拡散できなかったこと及び世界的なアルゴリズム変更により法人ページが個人アカウント上に表示されにくくなったため。
2	若い世代の国際感覚を醸成するとともに、友好提携州省をはじめ海外との国際交流を積極的に進めます。		
達成手段 (数値目標)	① 陕西省をはじめ日中国交正常化45周年を迎える中国との青少年交流やスポーツ交流を通じて、青少年の国際理解を進めます。 ・陕西省からの高校生受入によるスポーツ分野での交流事業の実施 ＜参加高校生等 80名(20新規)＞ ・若い世代の国際感覚醸成のため府内高校生による陕西省での高校訪問やホームステイなどの事業を実施 ＜参加高校生等 20名(20新規)＞	○	◎ ・平成29年6月、中国重慶市から青少年サッカーチームが入洛し、東城陽中学校等とサッカーを通じた交流を実施(参加高校生等 80名)(100%) ・平成29年8月、府内高校生(25名)が陕西省を訪問し、現地の高校生との交流等を実施(125%)
	② 平成28年度に友好提携したカナダ・ケベック州から訪問団を迎え、同州との経済交流や文化交流をさらに推進します。 ・映像・コンテンツ分野での産業交流の促進に向けた事業の実施 ・ケベック州において募集する公募型交流事業を協働で実施		◎ ・平成29年4月、ケベック州議会議長等が京都府を訪問し、交流を推進 ・平成29年12月～翌2月、ケベック州の漫画文化を紹介する漫画展を開催 ・公募型交流事業として、①同州の都市科学研究混成組織(UMRsu)及びけいはんな学研都市による共同研究開発、② MUTEK(デジタル音楽、アートイベント)へのケベックアーティストの参加、京都造形大学とのコラボレーション事業を実施
	③ 友好提携締結20周年を迎える英国エディンバラ市との間で、「お茶の京都博」とも連携した交流事業を行い、同市との経済交流や文化交流をさらに推進します。 ・茶文化交流を通じ、両地域の茶関係企業などの経済交流の実施 ・ライフサイエンス分野での産業交流の推進 ・京都府立医科大学とエディンバラ大学との間での新たな学生交流等の推進を支援		◎ ・平成29年11月、エディンバラ市副市長等が京都府を訪問。「お茶の京都博」に、同市内の茶業者等を招き、同地域の茶文化をPRするとともに、府内茶業者とのビジネス交流の促進 ・京都府立医科大学とエディンバラ大学との間で新たな交流推進に向け、協議が進展

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
	<p>ベトナムのトゥア・ティエン・フエ省との分野別交流に基づき、「もうひとつの京都」での経験を活かした、観光分野での国際協力事業と地域の国際化を推進します。</p> <p>④ 府北部における観光人材のプロモーションや外国人受入能力の向上にも結びつけるため、海の京都DMOと連携して、フエ省からの研修生受入れを実施 ・フエ省の観光人材の育成やフエ版DMO設立により、フエ省の観光振興にも貢献</p> <p>⑤ 日タイ修好130周年を迎えるタイ王国のチェンマイ県との交流を推進します。 ・スマートシティエキスポなどを通じたスマートシティ分野での交流を促進 ・高校生をはじめとした青少年交流の拡大</p>	○ ◎	<p>一般財団法人自治体国際化協会との連携により、平成30年度にフエ省から観光人材を研修生として受け入れ、観光振興のための人材育成に協力するとともに、海の京都DMO等との連携により府北部の観光振興にも寄与</p> <p>・平成29年9月、チェンマイ県との間で、スマートシティ分野における連携推進に係る合意書を締結 ・平成29年4月、チェンマイ県ユパラート校の生徒8名が府立東宇治高校を訪問</p>
3	<p>留学先としての京都の魅力を高め効果的に発信することにより、海外からの留学生を積極的に受け入れ、地域の国際化・活性化に活かすため、オール京都で留学生を誘致・支援します。</p>		
達成手段 (数値目標)	<p>① 留学生スタディ京都ネットワークを中心に、オール京都で留学生の誘致から就職までを総合的に支援します。 <府内の留学生数:9,400人(◎8,011人)> <京都企業に就職した留学生数:500人(◎385人) ※明日の京都数値目標◎280人> ・京都単独の留学フェア(学校説明会)の開催 <海外4都市(◎海外3都市)> ・多言語による京都留学総合ポータルサイトの運営 <アクセス件数120,000件(◎102,401件)> ・留学生と企業との相互理解を深めることで、留学生の雇用と就職後の定着を促進するため、京都の中堅・中小企業でインターンシップを実施します。 <インターンシップ参加学生数:40名(◎22名)、参加企業数:30社 (◎15社)></p> <p>② 留学生の受入れキャパシティを増やすため、府の遊休資産を活用し、大学と連携・共同した留学生宿舍の整備を進めます。</p> <p>③ 日本の伝統文化(茶道等)を学び体験し、京都をより深く理解してもらうことにより、「親京都派」の留学生を増やします。 <留学生日本文化マスター認定者数:20名(◎新規)></p>	○ ◎ ◎	<p><府内留学生数:8,504人(90.5%)> <28年京都企業に就職した留学生数:450人(90%)> ・京都単独の留学フェア(学校説明会)(100%) 4都市(8/18香港、10/23-25北京、11/4香港、2/10タイ) ・京都留学総合ポータルサイト アクセス件数:121,191件(101%) ・インターンシップ 参加学生数:37名(92.5%) 参加企業数:26社(86.7%) 【未達成の要因・理由】 受入企業の開拓は順調に推進できたが、留学生と企業のマッチングの段階で成立しなかったものが多かったため。(エントリー企業数 30社)</p> <p>平成29年5月29日、「京都府と国立大学法人京都大学との留学生受入拡大の連携・協力に関する協定書」を締結し、留学生寮の整備に着手(平成31年10月供用開始予定)</p> <p>平成29年8月4～10日、「きょうと留学生日本文化体験事業」茶道講座を実施 認定者数(留学生日本文化マスター):20名(10ヶ国7大学) (100%)</p>

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
4 メディアを通じた府政情報の効果的な発信を強化します。			
達成手段 (数値目標)	① 広報センターの外部専門家やPR専門会社とともに、メディアへの売り込みや企業タイアップにより情報発信を強化します。	◎	◎ ・メディア掲載数:242件 ・メルセデスベンツと連携協定を締結(29年6月) ・京都オークション in Tokyo・お茶の京都スタンプラリー等でコラボ ・カルビーとの商品開発コラボ(29年9月発売)
	② 市町村や地域メディア(コミュニティ・EFEM、ローカル紙、ケーブルテレビ等)と連携した情報発信を強化します。 ・地域メディアから「お茶の京都」を中心とした広報企画を募集し、府内における情報発信を実施 <20企画以上(◎21企画)> ・地域メディア同士のネットワーク化・連携を図り、府内の広域に届く情報発信を実施	◎	◎ ・23企画実施 ・うち3企画が複数の地域メディアの連携によるもの
5 災害からの安全な京都づくりを目指し、関係部局等と連携し、府民の防災意識を高める広報・啓発を強化するとともに、災害時等の情報提供を確実かつ迅速に行います。			
達成手段 (数値目標)	① 府ホームページやSNS等を活用し、災害時の情報提供を確実かつ迅速に実施します。 ・夜間、休日時における府ホームページの情報更新体制を強化 ・SNS(ツイッター)を利用して、気象に関する警報等の情報を確実に発信	◎	◎ SNS(ツイッター)による情報発信 気象警報情報 130回、避難勧告等情報 83回、土砂災害警戒情報 40回 など
	② 災害に対する知識や備えについて、府民だよりや府ホームページ、ラジオ等を通じて広報・啓発します。	◎	◎ 府民だより、テレビ、ラジオ等を通じて適時に広報・啓発を実施
	③ 大規模災害を想定した実践的な訓練を実施します。 ・ホームページの簡易版への切り替え、協定締結報道機関への放送要請等の実施 <2回(◎2回)>	◎	◎ 報道機関と共同した訓練、広報課内での実践的な訓練を9月3日(日)の府総合防災訓練及び3月8日(木)の府地震災害対応訓練に合わせて実施
6 「知事と和い和いミーティング」を、共生社会の実現に向けた16の重点施策に沿って実施します。			
達成手段 (数値目標)	① 「知事と和い和いミーティング」を人と人が寄り添い支え合う共生社会の実現に向けた取組の応援や施策へのフィードバックの場として展開します。 <全広域振興局管内で実施>	△	△ 3回実施(うち広域振興局管内2回) 【未達成の要因・理由】 関係機関との調整ができなかったため

運営目標		達成区分	達成状況(数値目標の実績・達成率 未達成の要因・理由)
7	多文化共生社会を実現するため、(公財)京都府国際センターを核として、府内市町村等と連携・協働して、地域の国際化を進めます。		
達成手段 (数値目標)	<p>① 市町村において災害発生時に速やかに「災害時多言語支援センター」を開設・運営できる体制を構築することにより、外国籍府民が地域で安心して暮らせる取組をさらに推進します。[H29新規]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な行動マニュアルの作成及び設置訓練の実施 ・関係機関や応援団体、大学等との協力体制を構築 	○ ○	<p><訓練></p> <ul style="list-style-type: none"> ・29年8月27日、京丹後市災害時多言語情報センター設置運営訓練を実施し、関係機関等との遠隔支援訓練も実施 ・29年9月3日、京都府総合防災訓練で、八幡市と協働し、外国人のための防災訓練、研修会を実施 ・29年11月5日、城陽市国際交流協会と協働し、外国人のための防災訓練を実施 ・30年2月25日、京丹波町等との協働し、災害時多言語支援センター設置・運営訓練を実施 <p><マニュアル></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時外国人支援モデルマニュアル(30年3月) <p><協力体制構築></p> <ul style="list-style-type: none"> ・府内市町村国際化協会等とのネットワーク構築のため、災害時外国人支援ワーキング会議を開催し、情報共有及び取組支援を実施(4回) ・府内市町村において、災害時外国人支援の相互連携・協力関係を構築するため、災害時外国人支援に係る各振興局管内市町村担当課長連絡会議を開催(4地域)
	<p>② 外国人と接する機会が少ない京都府域を外国人が訪れ、地域住民と交流するフィールドトリップ等の機会を創出します。 <留学生等外国人参加者:200名(㊟新規)></p>	㊟	<p>8コースのフィールドトリップを実施 留学生等外国人参加者:213名(106.5%)</p>

目標達成状況(達成区分)	件数	割合
目標達成「㊟」(達成手段のすべてが㊟)	2	29%
概ね達成「○」(達成手段の㊟が2/3以上)	3	42%
未達成「△」(達成手段の㊟が2/3未満)	2	29%
計(運営目標数)	7	100%

[達成手段(数値目標)の達成区分]
「㊟」…目標達成・上回って進捗(達成率100%以上)
「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満)
「△」…未達成(達成率90%未満)